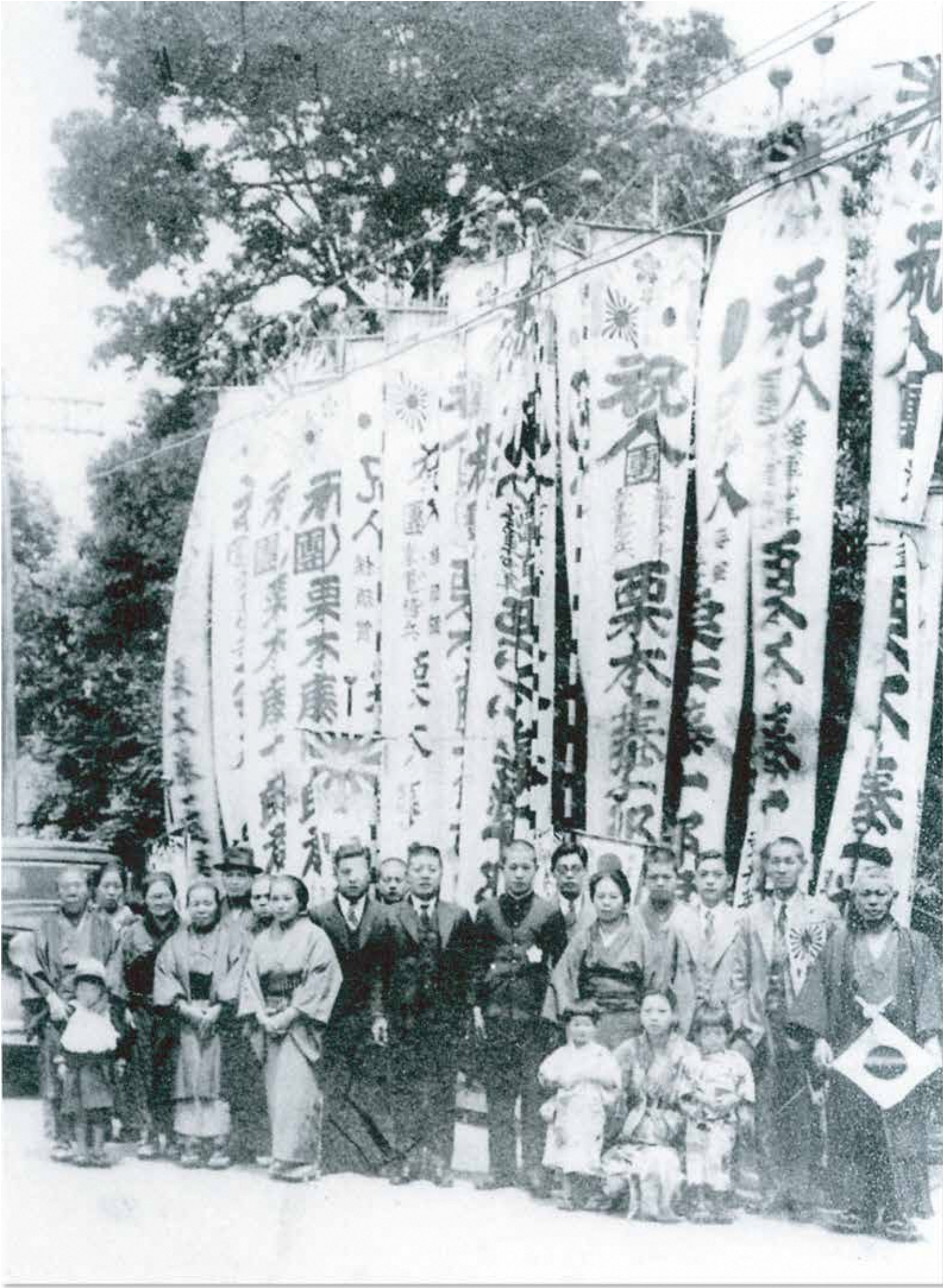


# しゅつ せい 出 征



入営祝いののぼり旗 1940(昭和15)年



出征兵士を見送る大日本国防婦人会田無分会  
1942(昭和17)年頃



ちょうへいせい

当時の日本には徴兵制があり、男性は20歳になると徴兵検査を受け、合格すると軍隊に入りました。戦争の拡大にともない、現役兵以外にも召集令状(赤紙)がきて、戦地へ送られる者が増えていきました。地域では在郷軍人会、青年団、国防婦人会などが一体となって出征兵士を送り出し、また出征兵士の家族の慰問や農作業などを共同で行いました。



日の丸寄せ書



千人針



軍隊手帳

英霊の帰還(昭和10年代)  
戦死者の葬儀がおごそかに行われた。

西東京市図書館 地域・行政資料室提供